

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/10/06

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.34	-0.10
JPY/THB	0.2194	-0.0010
USD/JPY	147.47	0.21
EUR/THB	38.00	-0.01
EUR/USD	1.1742	0.0027
USD/CNH	7.136	0.004
SGD/THB	25.10	-0.07
AUD/THB	21.35	-0.05
USD/INR	88.78	0.09
USD Index	97.72	-0.12

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.208	-0.004
10Y (THB)	1.400	-0.011
5Y (USD)	3.715	0.045
10Y (USD)	4.119	0.037

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,880.8	41.1
WTI (Oil)	60.88	0.4
Copper	10,715.5	225.0

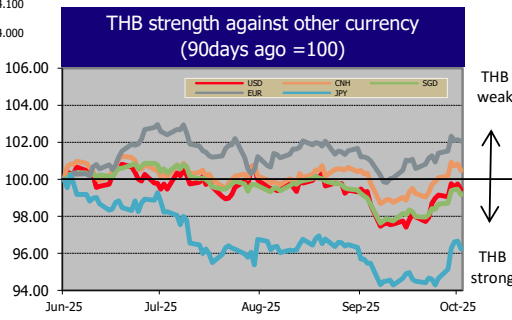
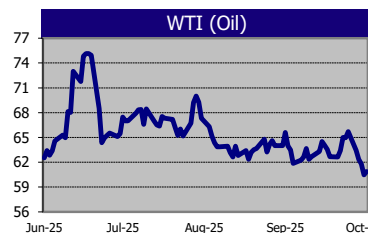
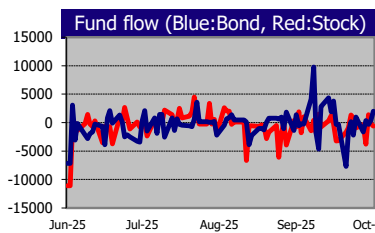
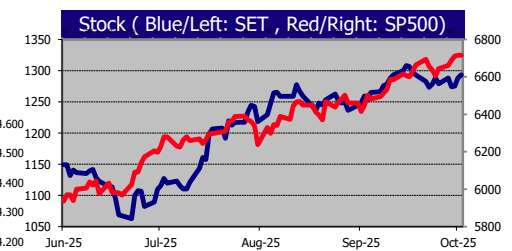
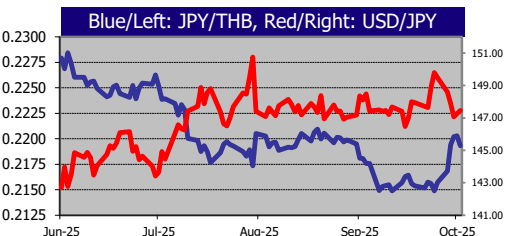
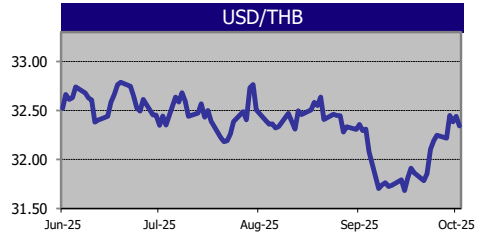
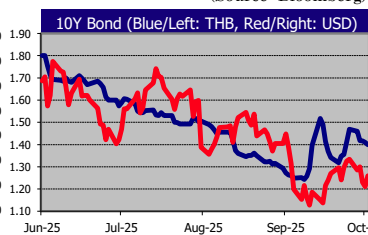
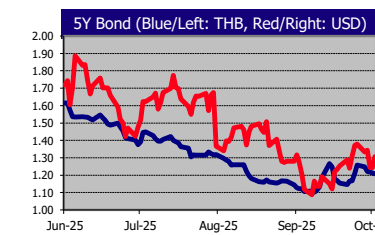
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,293.61	5.32
NIKKEI (JP)	45,769.50	832.77
DOW (US)	46,758.28	238.56
S&P500 (US)	6,715.79	0.44
SHCOMP (CN)	3,882.78	0.00
DAX(GER)	24,378.80	-43.76

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(624)	-445.1
Bond net flow	1,974	1639.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

3日(金)のドルパーツは下落。32パーツ半ばの水準で取引を開始。米政府機関閉鎖の影響を見極めたいとの思惑や、翌週(8日)にタイ中銀による金融政策委員会を控えていることもあってか、じりじりと下落。海外時間に入ってもトレンドは変わらず、32パーツ台前半まで下落し、前日海外時間の上昇分をほぼ打ち消す格好となった。その後、市場予想を下回った9月ISM非製造業景況指数が上値を押さえることとなり、終盤にかけても同水準で推移。そのまま32.34レベルで引けた。なお、米政府機関閉鎖の影響から、同日予定されていた米9月雇用統計は発表されていない。

●ドル円その他

3日(金)のドル円は小幅に上昇。147円台前半の水準で取引を開始したドル円は、経済イベントで講演を行った植田日銀総裁の発言がややハト派と捉えられたか、一時147円台後半まで上昇。その後は同水準での推移が続くも、海外勢が参入してくると、下落に転じ、米経済指標が市場予想を下回ったことも相俟って一時147円台前半まで戻し、往つてこいの展開に。終盤にかけては米金利の上昇を背景に147円台半ばまで戻し、147.47レベルで週末の取引を終えた。

Bangkok Dealer's Eye

4日(土)、自民党新総裁に高市氏が選ばれた。小泉氏優勢と見られていた中での結果であり、週明け本日の相場を見ると、為替はドル円がギャップオープンし、一時149円台後半まで上昇、株式市場は日経平均株価が一時4万7千円を上回り、史上最高値を更新。金利については短期金利低下、長期金利上昇といった反応となり、円パーツ相場についても、先月に付けた0.21台半ばの直近安値に迫る動きを見せている。

想定外の結果にマーケットはそれぞれ値幅を伴った動きを見せたものの、高市氏の過去の発言等に鑑みれば、この動きはある程度週末に想定されていたものであろう。今後の動きについては高市氏の動き(経済政策、政策金利のスタンス等)をマーケットが見ていくということだろうか。実際、総裁就任が決まって以降、今のところ高市氏から金融政策に対する具体的な言及は見られていない。総裁に就任して現実的な路線へ舵を切っていくのであれば、本日の動きが徐々に戻っていくシナリオも想定し得るところ。既に想定外の結果は早々にマーケットに織り込まれた中、一旦冷静になって今後の動きを見ていきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.